



高洲コンドルスが優勝報告 「打撃練習、成果出た」

少年野球

小学生球児が熱戦を繰り広げた「第38回くりくり少年野球選手権大会」(毎日新聞社、くりくり少年軟式野球連合会

主催、西武鉄道、TBSテレビ、スポーツニッポン新聞社、全日本軟式野球連盟後援)を初制覇した千葉市美浜区の高洲コンドルスが20日、毎日新聞千葉支局を訪れ、優勝を報告した。写真。

高洲コンドルスは埼玉県所

沢市であった11日の決勝で妻田ブルーフォックス(神奈川県厚木市)を6-5で降し、約1100チームの頂点に立った。県勢の優勝は1996年のみつわ台スラッガーズ以来20年ぶり。

準決勝、決勝で二塁打4本と爆発した川野翼主将(6年)は「決勝も初回に5点取れたので、いけると思った」。香川達弘監督も「まさか優勝できると思わなかったが、打撃練習を徹底した成果が出ました」と喜んだ。【川名壮志】